



経済産業省推進事業

# IT経営応援隊

## 地域イノベーションパートナーシップ (RIPs)

http://www.itoutentai.jp/ ~2010年3月

http://www.it-partnership.jp/

### 平成21年度の総括と 新年度の活動方向

IT経営応援隊および地域イノベーションパートナーシップ(通称RIPs)は平成21年度の活動を終了した。全国レベルの事業としては中小企業IT経営力大賞2010の実施があり(詳しくはP24を参照)、経済産業大臣賞2社が、いずれもサービス業であり、また身近な業種ということもあって、特色ある結果となった。

2010年2月24日には記念式典および表彰式が執り行われた。



基調講演を行う早稲田大学大学院教授 根来龍之氏



「全国ITベンダ情報データベース」のWebサイト

基調講演には早稲田大学大学院教授・根来龍之氏を招き「中小企業のITトレンドへの対応について」バスワードに惑わされないための知恵」をテーマにIT用語のトレンドと普及の関係について研究結果が発表された。

### 「全国ITベンダ情報データベース」

ITベンダーとユーザーとのマッチングを促進するものとして企画された「全国ITベンダ情報データベース」が稼働を開始。これはIT関連のサービスや商品を提供する企業とユーザーとの

http://www.itvdb.jp/

提供する企業に関する情報を収集・提供するデータベース。IT活用を行う中小企業や、支援者のITベンダー探しをサポートする。

検索は、依頼内容、サービス提供エリア、ITベンダーの所在地などから選ぶことができ、候補として上がった企業名をクリックすると詳細情報が提示される。

内容はITベンダーの持つ情報サービスや商品の内容、特に「強み」や「特色」を効果的に記載した「IT供給力指標」を閲覧することができるが、「IT供給力指標」に関しては、公開が制限されており、ユーザーをサポートするITコーディネーターや商工会議所の経営指導員等の「仲介者」のみが閲覧可能となっている。

### 平成22年度の方向性

平成22年度の事業についてはまだ詳細が確定していないが、中小企業IT経営力大賞2011の実施やIT活用への気づきの場を提供する経営者研修会などについては継続実施の方向である。

## 地域IT経営応援隊&RIPs

### 北海道、関東、四国

### 北海道地域の活動

○平成21年度北海道IT経営貢献賞受賞企業が決定

本賞は、北海道内の中小企業等の模範となる優れたIT経営を実現している道内中小企業等を表彰するもの。今年度から、選定された中小企業等のIT経営を支援したITベンダーも表彰を行っている。

- ・市川クリーニング商会(札幌市)
- ・北の達人コーポレーション(札幌市)
- ・総北海(旭川市)
- ・特定医療法人社団 高橋病院(函館市)
- ・福本商店(札幌市)
- ・メディア・マジック(札幌市)
- 「ITベンダ部門」
- ・アイ・エー・シー(旭川市)(被支援者)
- ・ヴァイタス(東京都)(被支援者)
- ・特定医療法人社団 高橋病院(札幌市)
- ・リコー北海道(札幌市)(被支援)

### 関東地域の活動

#### 地域プロジェクト活動事例冊子を発行



2010年3月に「関東IT経営応援隊地域プロジェクト実況中継V015」を刊行。今号では、特集として横須賀商工会議所の支援活動内容と支援先企業2社(西村企業、パナテック)、地域ITベンダーとしてパワー・フォワード・アソシエイションの事例が掲載されている。

また、地域イノベーションパートナーシップの地域展開の例として、東京多摩地区の「たまIT戦略会議」、静岡県静岡市の静岡情報産業協会の取り組みが詳しく紹介されており、地域ITベンダーのビジネスモデルを模索する様子が見えてくる。

### 関東IT経営応援隊DAY 2010

恒例の「関東IT経営応援隊DAY」が2月5日に開催された。「ネットとリアルが連携した新しいビジネスモデルを考える1日」をテーマに開催。

関東経済産業局地域経済部吉澤雅隆部長の開催挨拶の後、基調講演に続く特別講演として東京都中野区情報政策官の



中野区情報政策官の 小林文記氏

### 四国地域の活動



地域内の先進IT活用事例を紹介する「IT経営実践事例集2010」を刊行。掲載企業は次の通り。

- ・富士製紙企業組合(徳島県)
- ・愛媛旅行業協同組合(愛媛県)
- ・四国八洲薬品(徳島県)
- ・丸亀自動車学校(香川県)
- ・トローヨー・ロジテック(愛媛県)
- ・竹虎(高知県)

## 関西地域の活動

「RIPs Kansai」―関西地域の活動は、この名称で展開。覚えやすさもあって1年で知名度も上がりつつあるという。

ITベンダー、支援機関、ユーザー企業が互いを知り合ってマッチングの場を作るために、「地域コミュニティ」を形成。公募により採択された7つのコミュニティの幹事団体(ドライバー)は、ITベンダー、支援機関、ITコーディネーター組織、ユーザー組織と様々な。「地域の個性を活かすということ」を第一に、活動を進める方々の立場やニーズを踏まえて幅を持たせています」と近畿経済産業局情報政策課情報推進係の坂本りっか氏は説明する。

RIPs Kansaiの事務局を務める財団法人関西情報・産業活性化センター(KIIS)の小出高康氏は「ITベンダーのビジネス環境は地域により異なるので、活動もカラーが出ています」という。例えば福井では、ITベン

ダーが集まる社団法人福井県情報システム工業会があり、ITベンダー自身が積極的にビジネスを創り出そうとしている。

また、京都では、あるベンダーの団体がユーザーの団体向けに独自のSaaSシステムを構築する動きが進んでいるという。公的機関が双方のニーズを見てマッチングしたもので、「世話人」役の存在が際立つ。同課課長補佐の吉田秀樹氏は、「1社ごとの個別システムの構築に比べ数社がまとまった形だとITベンダーも採算がとりやすくなります。団体単位でビジネスをクリエイトしようという動きは良い方向です」とコメント



近畿経済産業局地域経済部情報政策課 課長補佐 吉田秀樹氏(写真右)  
同 情報推進係 坂本りっか氏(写真中央)  
財団法人関西情報・産業活性化センター 情報推進グループ 部長 小出高康氏(写真左)  
(RIPs Kansai事務局)

する。

RIPs Kansaiでは、活動結果を数値化して事業評価を行ったが、参加者の反応は、「非常に役に立った」および「概して良かった」の合計が96%と、極めて高いスコアを示した。IT活用商談まで至ったケースも17件あるという。

「ドライバーとなる方々の意欲の高さ、またユーザー側の視点を理解して一緒に汗をかく姿勢など、好評価につながったのではないだろうか」と小出氏は指摘する。

地域コミュニティの一つに「近畿スモ×スモ協議会」がある(「スモ」はスモール。小規模ユーザーとベンダーという意味)。セミナーでは経営者の悩みに親身に対応する姿勢が一貫しており、ユーザーが興味関心を持つ部分から話す工夫もしているという。本コミュニティは平成21年度の「RIPs Kansaiアワード」にて「コミュニティ賞」を受賞した。

一方、事務局の自主事業としては、1月13日に「関西イノベーションパートナーシップマッチン

グフェア」を開催。ここでは「ショートサーキットプレゼンテーション」としてITベンダーやITコーディネーターが20分間のセミナーを次々と実施。その後名刺交換などが可能となっており、プレゼンテーションを介したマッチングという新しい試みであった。

また、Webを通じてITの悩み事の相談に応じる「e相談所」も活況で、ITベンダーから製品アピールの相談が寄せられたり、ITコーディネーターなどの専門家紹介依頼もあった。「相談履歴を匿名性を保ちながらデータとして共有できるシステムなので、分析してノウハウを蓄積できる点が特徴的です」と近畿経済産業局の坂本氏。この仕組みは支援力のアップにも活用できそうだ。

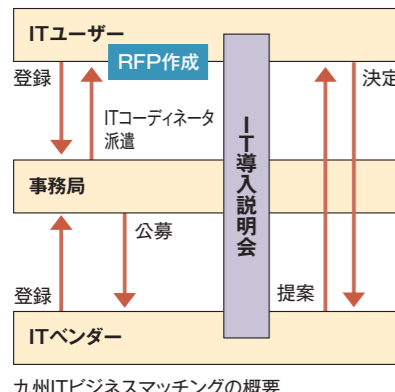
平成21年度の地域コミュニティ
・ふくいIT経営応援隊
・KIZUNAシップ
・関西イノベーションカフェ
・ラボ・コミュニティ
・近畿スモ×スモ協議会
・チームIT神戸
・RIPS和歌山

## 九州地域の活動

「2月に九州IT経営力大賞を決定しましたが、応募実数が増え、IT活用レベルも上がっています」

九州経済産業局情報政策課係長の田中司氏は活動を通じての実感をこのように話す。表彰を受けた企業は、建築の工程を見える化した取り組み、農業工程管理を行った農業生産法人など多彩で、審査に悩むほどの状況だったそうだ。

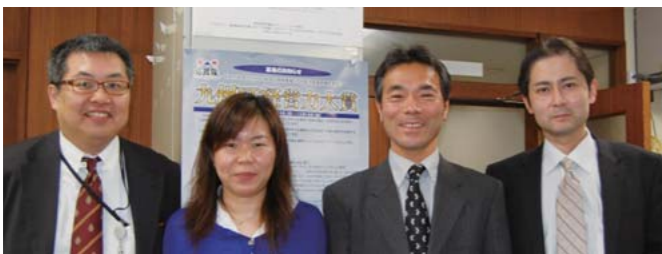
平成21年度は、IT利活用の推進およびユーザー・ベンダーのマッチング事業の分野は、熊本ソフトウェアを事務局に、これまでの実績をベースに一步踏み込んだ事業



九州ITビジネスマッチングの概要

を行った。

特に、IT活用の必要性に気づいた企業が具体的にIT活用を行う局面での支援に注力。個別指導によるRFP(システム提案依頼書)の作成指導を実施したほか、ITベンダー選定までのプロセスをITコーディネーターが実践的に解説した「九州ITビジネスマッチングガイドライン」を作成。また、具体的にマッチングの場を提供する「九州ITビジネスマッチング」の試みもあった。こ



九州経済産業局地域経済部情報政策課 課長 松谷昭一氏(写真中央右)  
同課 情報政策係長 平川伸子氏(中央左)  
同課 情報推進係長 田中司氏(右)  
九州IT経営応援隊事務局 事務局 熊本ソフトウェア ソーシャルソリューション室 室長 藤森慎太郎氏(左)

れはIT導入を希望するユーザー企業(2社)がITベンダー向けの公開説明会を開催するものだ。同課情報政策係長の平川伸子氏は「ITベンダーは20社ほど集まりました。RFPの内容に従ってベンダーから提案が出され、ユーザー側がITコーディネーターのアドバイスも受けながら選定を行いました。その後は民民契約となります」と説明する。

## RIPs・Kansaiアワード

- ベストプラクティス賞  
パルステージ  
(ITベンダー:ヒロ・パン 専門家:堀八州夫氏)
- プラクティス賞  
サンコーインダストリー  
(支援者:オーシーシー情報センター) ソーキ  
(支援者:オーディットサービス、ライアブルソリューションズ)
- チャレンジ賞(ITユーザー)  
アコス  
神戸設計ルーム  
杉本カレンダー  
大建加工
- チャレンジ賞(ITベンダー)  
スキルインフォメーションズ  
本多茂氏
- コミュニティ賞  
近畿スモ×スモ協議会

テーマでの研修会は好評を博したという。

## 平成21年度九州IT経営力大賞

- 九州経済産業局長賞  
アイ・ホーム(宮崎県)
- 特別賞  
農業生産法人さかうえ(鹿児島県)  
浸透工業(長崎県)  
サンファアルマ(福岡県)
- ITユーザー賞  
鳥栖倉庫(佐賀県)  
肥後物産(熊本県)
- ITサポート賞  
コムテック(宮崎県)  
キヤム(福岡県)  
コパン(大分県)
- ITパートナー賞  
長連(ITユーザー 長崎県)  
オフィスメーション(ITベンダー 長崎県)
- 選考委員会奨励賞  
クリエイティブジャパン(福岡県)